

ゼミ合宿 2011 報告 (4)

田邊 了三

田邊です。三重県二見浦への2泊3日のゼミ合宿。私自身、大学生生活3度目となる三重への合宿は、今までと違う非常に濃密な3日間でした。私には、この合宿で気づけた大切な



花火で童心に戻るゼミ生たち。マーシはすぐ裸になり、自慢気に上半身を披露していました。イマニとシュンがマーシに挑んで相撲を取りましたが、一人とも簡単に砂浜に投げ飛ばされました。

なことがありました。それは、宮川ゼミは、『なんでも本気で取り組むことのできるメンバーが集まっているということ』です。それは、勉強に限らずレクリエーションでも同様でした。海に入ったときは、男性陣は、誰が一番早く海に投げたボールを取りに行けるか競争したり、ビーチフラッグスで対戦したりしていました。もちろんそこに文化系、運動系など

関係はありません。体力に差があることは分かっても果敢に挑戦していきました。また砂浜で、男女一緒に野球のようなものを始めた時も、終盤2点のビハインドで登板したクーニーは、今までは下投げだったのですが、伝家の宝刀上投げを解禁し、見事にダイゴを三振にしとめていました(笑)。宮川ゼミの女性陣は、野球だからといって、女の子は参加しないということはなく、何事にも積極的で、男性陣よりもたくましく見える時があります。勉強については、コーポレートファイナンスの締めくくりとなる利益還元政策について熱い議論を展開しました。今までは、時間の短い中で、議論しながら内容を理解する程度に留まっていたのですが、今回は、明確な答えの無い、配当政策と自己株式取得について、MMの理論を理解した上で、仮説を立てながら。それについて議論することができました。長い時間を取って深い議論をすることは理解も深まるし、新たな面白い考えが浮かんできたりして、とても有意義なことだと感じました。



景勝「夫婦岩」をバックに記念撮影。めちゃめちゃ暑かったけど、海と空がキレイでした。縁結びのお守りを買う人はいなかった。